

NO CHANGE,
NO PROGRESS安西孝之
財団法人日本ゴルフ協会 会長日本のゴルフ振興のために何が必要か？
それが新たな取り組みの出発点

「変わらないことは後退に等しい」——。
常に前進することがJGAに科された使命

2006年、財団法人日本ゴルフ協会は、数多くの新たな取り組みをスタートさせた。
それはナショナル3オープンの賞金額アップやプロアマの開催。

R&Aルールズスクールの国内開催。また、各委員長を理事と兼務させるなどの内部組織の変更など、
多種多様な試みが行われた。そこでJGA安西孝之会長が、この1年を振り返るとともに、
2007年に向けたビジョンを語った。

3オープンの賞金増額の目的はファンに
より質の高い日本一決定戦を見てもらうため

—— 2006年は、いくつかの新しい取り組みが行われましたが、今年一年を振り返っての感想を聞かせてください。

安西 まず、3オープンでさまざまな改定を行ったことです。その中でも皆さんに注目されたのが、各オープンの賞金の増額です。当然、選手のみなさんは喜んでくれたと思いますが、この改定はファンの皆様にも、よりエキサイティングで質の高いナショナルオープンを見ていただきたいという目的のもと行ったものなのです。その効果があったか否かは、私だけが判断すべきことではないと思いますが、多くの人に3オープンに対して、これまでよりも多くの関心を持っていただけたという点では、良かったのではないのでしょうか。

もうひとつはこれも3オープンで開催したプロアマ大会です。従来のスポンサートーナメントのプロアマは、主催企業の広告活動の一環として行われる傾向が強いと思います。しかし、JGAが主催する3オープンのプロアマ大会というのは、政界、財界、スポーツ界のゴルフに関心のある多くの方々に、ゴルフの振興のためにさらなる理解を深めていただくこと。そして、一般アマチュアゴルファーであるJGA個人会員の皆様にも参加してもらうことで、ナショナルオープンに身近に感じていただくきっかけになったと思っています。

—— 2006年の3オープンは、視聴率、入場者数ともおおむね良い数字を残せたという評価がありますが？

安西 視聴率については、他のスポーツ（特に野球やサッカー）に比べて、まだまだ低いですね。放映時間帯にも問題があると思います。ゴルフトーナメントがゴールデンタイムに放送されることはありませんからね。ただ、そういう状況を考慮すれば、まずまずの数字だとは思いますが。もちろん、これからも一人でも多くの

方がゴルフに関心を持ってもらえるよう、できることを模索し、実行していきたいと考えています。また、2006年は3オープンとも、面白い試合が行われたと私自身も感じていますし、多くの方にもそのような感想をいただきました。それぞれ日本一を決定する試合ですので、2007年は昨年以上の熱戦を選手たちが繰り広げてくれたら強く望んでおります。

—— 2006年は、ナショナルチームが優勝を目標としている世界アマとアジア競技大会が開催されました。女子チームは優秀な成績を残しましたが、男子の結果は残念なものでした。

安西 ナショナルチームについては、なかなか難しい部分もあります。JGAはプロの養成だけを目的にナショナルチームの強化を行っているわけではありませんが、女子チームの方はプロを目指し、なおかつ世界を視野に入れた取り組みをしている選手が多いように感じます。そのためでしょうか、一人ひとりの目的意識が明確で、それに合致した指導が合宿等で実施されており、強化プログラムが非常に効果的に機能しているように思えます。一方の男子チームは、女子に比べて年齢が若干高く、プロへという意識も多少薄いように感じます。プロの世界へ進み、プロの世界で即活躍できる選手作りというのも、ナショナルチームの強化のひとつの目的であるならば、男子の方は今ひとつだなという感がありますね。

—— かつて、ナショナルチームに在籍し、代表に選ばれたり、合宿や海外遠征を経験したプレーヤーに話を聞くと、この時に積んだ経験が、人間的な成長や海外でプレーをした時など、さまざまな場面で役立っていると口を揃えます。

安西 JGAとしては、一番お金をかけている取り組みですからね。合宿もそうですが、選手たちを海外の試合に派遣するにも、相当な費用がかかります。そういう意

味では効果がないと困ります。是非、選手たちには有意義な経験を積んでいただき、「自分は国際試合を経験したんだ」という自信を持つことで、将来のゴルファーとしての活躍と、人間的な成長に繋げてもらえればと強く思います。

—— 2006年はR&Aを日本に招いてルールズスクールを行いました。

安西 この取り組みは、以前から日本で実施しようと考えていました。一方、R&Aも日本でルールズスクールを展開したいというプランはあったようです。しかし、日本では、レフェリーやゴルフルールの運用について、素晴らしい取り組みを行っているという評価から、多少の遠慮があったのかもしれませんが。今回、JGAから「是非、やりましょう」とオファーをしたところ、両者の意見が一致して、この取り組みが実現しました。

受講者は、70人くらいでしたね。そしてR&Aのスタッフの説明は非常に上手く、データや写真も豊富にありましたので、参加者とJGAにとって、非常にプラスになったと思います。この取り組みは、今後も継続していく予定です。これを続けることで、ゴルフへの関心が高まる上に、競技もよりスムーズに進められるようになるはずです。ルールというのは、本で読んでもなかなか覚えられないものではありません。今後、一人でも多くの皆さんにこのスクールに参加していただき、より実践的なルールの解釈と運用を身につけていただければと思います。

「変えよう」という意識を持つことと密なコミュニケーションが大切

—— JGAの組織についてですが、各委員長が理事を兼務するようになりましたが。

安西 これまで、各委員会は割と独自に活動していたと

いう印象が私にはありました。しかし、JGAの活動はそれぞれがリンクして行われた方が効率的ではないか、という思いもあったのです。そこで委員長にはJGAの具体的な活動を知ってもらうために、理事を兼務してもらうことにしたのです。これにより、それぞれの理事がコミュニケーションを密にとって、方向性を確認し合いながら、委員会を運営する土台は出来上がったと思います。

—— 2006年にスタートした今回の新たな取り組みについてマスメディアの一部が「改革」という言葉を使いました。しかし安西会長自身、それには多少の違和感があるということですが。

安西 世の中は常に変化をしています。それに対して、JGAが同じことを繰り返して行っていれば、時代の流れに遅れてしまうことは火を見るよりも明らかなです。そのような認識を常に持つことが、変化に柔軟に対応することに繋がるのです。「変えよう変えよう」という意識を持って運営をしていくことがJGAに与えられた課題なのです。JGAを含めあらゆる団体は、時代の流れに迅速に対応することが求められており、そのために変化をしていかなければなりません。我々は常に前進をしているわけですから、「改革という言葉は適切ではない」ということを申し上げたのです。

また、JGAにはいろいろな意見があると思われがちですが、よく話してみると根本の部分はそんなに変わらないものなのです。ただ、コミュニケーションが図れていないと、少し意見が食い違うだけで、それが増幅されてしまいます。ですから、お互いがしっかりと向き合って話し合うことが大切です。JGAにかかわるほとんどの人は「ゴルフの振興のためには何が最善か」という気持ちを抱いていて、それを大前提に真剣に考えています。そのことから、コミュニケーションを図ることがいかに重要かということが分かります。各委員長や8つの地区連盟のトップの人たちともコミュニケーションを密にす



上段:日本オープンで挨拶する安西会長 下段:日本シニアオープン優勝・中嶋常寺



るために、代表者会議等を積極的に開いています。「コミュニケーションを密にすること」が、私個人の一番の課題であり、それを徹底しています。

2007年は小学生の全国大会を開催 ジュニアゴルファーの指導者の養成も急務

—— 2007年の具体的なプランはありますか？

安西 昨今、ゴルフ界ひいてはスポーツ界全体の競技人口が低年齢化している傾向にあります。それをさらに推し進めるために、小学生をはじめとするジュニア世代にゴルフに馴染み、親しんでもらいたいという思いを強く抱いています。その具体策の第1弾として、2007年には、すでに5つの地区で始まっている小学生大会を全国規模のものにしていきたくと思っています。これにより、小学生、中学生、高校生、大学生と繋がる学生世代のそれぞれのカテゴリーでの全国大会を実現させることができます。小学生大会は、その一環というわけです。次にジュニアに必要なのは指導者です。子供たちにはプロに教わる前の段階で、ゴルフに馴染めるような手解きが必要だと思います。この部分を担当できる人材を育成することもJGAに与えられた課題だと言えます。また、それを実現させるためには、全国各地のゴルフ場、ならびに練習場等のバックアップもなくてはなりません。

—— ゴルフの普及策として、JGAゴルファーズ倶楽部も新たな取り組みの一つに挙げられていますか。

安西 私の頭の中にはさらなるゴルフの普及、振興ということが常に強くあります。ゴルフスクールやハンディキャップシステム等の基礎的な活動と競技団体としての2つの活動に加え、ゴルファーへのサービスを付加するという、ゴルファーズ倶楽部の構想がありますが、現段階では進行が予定よりも遅れています。これは、理由

あつてのことなのですが、計画は着実に前進しておりますので、2007年中には最終決定したものを発表できると考えております。

—— 今後も新たな取り組みは行われますか。

安西 そうですね。常に「前へ行くんだ」ということをゴルフに携わる多くの方々に訴求していきたいと考えています。止まっているということは「変わらない」どころか「後退」を意味します。やはり大事なのは「前進」することなのです。こうした思いをベースに、一つひとつ物事を検証しながら、課題が浮かび上がったら速やかに対応するという姿勢で、今後も活動していきたいと思っています。

—— 最後に、今、安西会長が日本のゴルフ界に対して懸念されていることはありますか？

安西 ゴルフ人口もプレー回数も決して増えているとは言えない状況下において、一人でも多くの人にゴルフに親しんでもらうことが最大の課題だと思いますね。これはJGAはもとより、ゴルフ関係者すべてが知恵を出し合わなければいけないことだと思っています。もちろんプロゴルファーも例外ではありません。数多くのゴルファーの中の一つにプロというカテゴリーが存在するわけですが、彼らはゴルファーの頂点に立っているという自覚を今以上に持つべきです。全てのプロに「自分は注目を浴びている」という気持ちを持って行動してもらっても、日本のゴルフの発展に必要なことではないでしょうか。もちろん我々も、日本のゴルファーの数を増やすにはどうしたら良いか、ということを地道に考え、行動していきたいと思っています。

—— 本日はありがとうございました。



前年覇者の片山晋呉を倒し、 ポール・シーハンが日本オープン初優勝!

50年ぶりに日本オープンの舞台を務めた霞ヶ関CC西コースが、予想外のドラマを生んだ。



1



2

「ビッグな大会に勝つことができ、本当に嬉しい。ベストを尽くして結果が出たんだ。これで夢であるアメリカに行ける。」(シーハン)

前年覇者の片山晋呉とP・シーハンによる最終R最終組の一騎打ちは、スタート直後に勝負の流れがシーハンに傾いた。1打差でシーハンを追う片山は、1番、2番連続ボギーの苦しい滑り出しとなり、更に4番パー3でも短いパットを外してこの日3つ目のボギーを叩いてしまう。対するシーハンはこのホールをバーディーとし、両者の差は5ストローク。これで片山は早々と優勝争いから脱落した。

「片山選手はパットも良くなく流れに乗れていなかった」と、ライバルの乱調は逃げるシーハンに余裕を与えた。「他の選手も追いついてこなかったし、インではバーディーを狙うより、パーを積み重ねていこう」と作

戦を変更したシーハンは後半、持ち前の堅実なプレーを展開し、通算7アンダーパーで見事に大会初優勝を達成。自ら「タフなコースが好き」と語る豪州出身の29歳は、「したたかなゴルフ」で霞ヶ関CC西コースを征した。

2002年来日し、以来日本ツアーを主戦場として戦うシーハンにとって、今回のビッグタイトル獲得は格別の喜び。「こうしてビッグな大会に勝つことができ、本当に嬉しい。ベストを尽くして結果が出たんだ。これで夢であるアメリカに行ける」と、日本オープンチャンピオンとしての大いなる誇りと自信を胸に、世界への挑戦を心に期す。



3



4

1 グリーン上で慎重にラインをよむシーハン

2 1997年C・パリー以来二人目の豪州選手の優勝となった

3 ホールアウト後健闘を称え合う片山とシーハン

4 バンカーに入れるも冷静沈着なゴルフを見せたシーハン

9年ぶり2人目の豪州選手が優勝

●10月12日～15日 ●霞ヶ関カンツリー倶楽部 西コース(7,068ヤード・パー71) ●出場人数120名

順位	氏名	所属	1R-2R-3R-4R=TOTAL	賞金額(万円)	氏名	所属	1R-2R=TOTAL
1	P・シーハン	アクシネット	68-70-68-71=277	40,000,000	池田 勇太	東北福祉大	75-73=148
2	矢野 東	サイバーエージェント	69-74-66-71=280	22,000,000	井関 剛義	交野CC	76-72=148
3T	宮本 勝昌	ジャパンニューアルファ	75-71-66-69=281	12,700,000	小倉 辰之	協和GC	73-75=148
	谷口 拓也	さだ企画	71-69-68-73=281	12,700,000	久保谷健一	フリー	73-75=148
5T	葉 偉志	キャロウェイゴルフ	70-70-73-69=282	6,200,000	高橋 竜彦	ホリプロ	73-75=148
	S・K・ホ	フリー	71-71-70-70=282	6,200,000	立山 光広	カバヤグループ	73-75=148
	富田 雅哉	瑞穂GC	71-72-67-72=282	6,200,000	野上 貴夫	フリー	74-74=148
	岩田 寛	仙台CC	71-67-71-73=282	6,200,000	芳賀 洋平	中央学院大	74-74=148
	片山 晋呉	ファイテン	67-69-71-75=282	6,200,000	藤田 寛之	葛城GC	75-73=148
10T	武藤 俊憲	赤城CC	71-73-71-68=283	3,144,000	細川 和彦	アーククエスト	69-79=148
	星野 英正	マンダム	73-65-72-73=283	3,144,000	W・バースキー	フリー	73-76=149
	加瀬 秀樹	アイテック	71-70-70-72=283	3,144,000	小川 哲広	可児GC	74-75=149
	真野 佳晃	太平洋CGアカデミー	68-73-69-73=283	3,144,000	D・チャンド	キャスコ	74-75=149
	室田 淳	サマジコボレーション	73-69-68-73=283	3,144,000	井上 忠久	フリー	76-74=150
15T	上平 栄道	フリー	71-73-70-70=284	2,060,000	井上 忠久	フリー	76-74=150
	W・リャン	本間ゴルフ	71-72-69-72=284	2,060,000	小黒 貴志	兵庫県連盟	74-76=150
	増田 伸洋	イーグルポイントGC	71-70-70-73=284	2,060,000	高山 忠洋	法仙坊GC	74-76=150
	谷口 徹	フリー	72-67-71-74=284	2,060,000	田中 栄二	ミッションパレーGC	78-72=150
	平塚 哲二	甲賀CC	68-70-72-74=284	2,060,000	藤本 佳則	東北高	72-78=150
	Y・E・ヤン	ゲージデザイン	69-70-70-75=284	2,060,000	浦口 裕介	フリー	76-75=151
21T	D・スメイル	アクシネット	71-71-72-71=285	1,686,666	江尻 壮	J&PGC	77-74=151
	真板 潔	フリー	71-71-71-72=285	1,686,666	坂本 聡	霞ヶ関CC	74-77=151
	J・M・シン	フリー	65-72-74-74=285	1,686,666	田村 尚之	賀茂CC	77-74=151
24T	谷原 秀人	フリー	70-72-74-70=286	1,540,000	中川 勝弥	ABCGC	78-73=151
	深堀圭一郎	フォーラムエンジニアリング	72-69-74-71=286	1,540,000	中島 武志	三輪グループ	73-78=151
	大井手 哲	ダイテック	70-71-74-71=286	1,540,000	新留 徹	玉名CC	77-74=151
	白湯 英純	セントラルパークGC	75-67-72-72=286	1,540,000	林 栄作	クーカイ	71-80=151
	ウオンジョンリ	オーストラリア	70-67-72-77=286	0	檜山 敏行	坂田新聞店	77-74=151
29T	井上 清孝	東京ドーム	74-72-76-65=287	1,400,000	堀之内 豊	ドレスデン	76-75=151
	川岸 良兼	ミズノ	71-72-72-72=287	1,400,000	山下 英治	夜須高原CC	75-76=151
	古庄 紀彦	筑波CC	71-71-71-74=287	1,400,000	大串 芳明	フリー	76-76=152
32T	B・ジョンズ	キャロウェイゴルフ	75-71-73-69=288	1,300,000	康 晟訓	韓国	75-77=152
	佐々木久行	GMG八王子	73-69-73-73=288	1,300,000	木村 忠昭	フリー	75-77=152
	金 庚泰	韓国	69-68-77-74=288	0	千葉 貴洋	取手国際GC	78-74=152
36T	鈴木 一徳	ダイナスティゴルフ	69-74-71-74=288	1,300,000	山本 昭一	養老CC	75-77=152
	中村 龍明	菟野倶楽部	71-72-74-72=289	1,250,000	吉田 泰典	フリー	75-77=152
	伊澤 利光	ANA	74-72-70-73=289	1,250,000	上田 友昭	area	75-78=153
38T	中嶋 常幸	フリー	75-71-72-72=290	1,200,000	稗田 基樹	長崎水産運輸	77-76=153
	梶川 剛奨	マーズレックス	72-68-76-74=290	1,200,000	前田 男	埼玉平成高	78-75=153
	今井 克宗	フリー	70-72-73-75=290	1,200,000	小林 正則	フリー	75-79=154
41T	横尾 要	EH	73-72-75-71=291	1,140,000	廣田 恭司	フリー	79-75=154
	尾崎 将司	マックスインターナショナル	75-71-72-73=291	1,140,000	柳 基秀	葵CC	79-75=154
	原口 鉄也	フリー	77-69-69-76=291	1,140,000	笠原 広規	岡山西GC	78-77=155
44T	S・コンラン	フリー	73-71-74-74=292	1,080,000	青木 功	フリー	78-78=156
	片岡 大育	読売CC	69-73-76-74=292	0	杉瀬 薫	三重CC	77-79=156
	近藤 智弘	フリー	70-75-73-74=292	1,080,000	茅野 弘喜	諏訪湖CC	76-80=156
	井上 信	袖ヶ浦CC	73-72-72-75=292	1,080,000	三品 貴泰	明智GC	78-78=156
48T	林 根基	スリーボンド	72-75-74-72=293	1,030,000	青山 浩嗣	ジェディック	79-78=157
	宇佐美祐樹	鷹GC	72-73-75-73=293	0	森 貴之輔	西GC	79-80=159
	芹澤 大介	デザート	73-71-71-78=293	1,030,000	草野 忠重	城島後楽園CC	84-77=161
51T	貴田 和宏	すずかけゴルフガーデン	73-72-76-73=294	970,000	永井 友之	みずなみCC	84-79=163
	小山栄治郎	太淀グループ	69-75-76-74=294	970,000			
	岸本 翔太	グリーンヒル関GC	73-68-78-75=294	970,000			
	木下 裕太	日本大	74-73-73-74=294	0			
	手嶋 多一	ミズノ	73-69-74-78=294	970,000			
56T	山口 治	奈良ロイヤルGC	72-75-76-72=295	890,000			
	木島 正憲	西日本CC	74-73-76-72=295	890,000			
	横田 真一	サクセスプロ	73-73-75-74=295	890,000			
	谷 昭範	フリー	72-75-72-76=295	890,000			
60	田保 龍一	オークモントGC	70-77-77-72=296	840,000			
61T	清水 正貴	タートルエースGC	74-73-77-73=297	800,000			
	小山内 護	フリー	72-73-74-78=297	800,000			
	伊波 邦准	森川ゴルフガーデン	73-74-72-78=297	800,000			
64	川原 希	フリー	69-76-78-75=298	760,000			
65	伊藤 勇気	日本大	73-73-78-75=299	0			
66	藤池 昇龍	フリー	74-73-76-79=302	740,000			
67T	今野 康晴	フリー	73-74-79-77=303	720,000			
	安川 剛志	大和染工	74-72-74-83=303	720,000			
69	森 雄貴	中部パブリック	71-75-79-83=308	0			

以上第3ラウンド進出者

◎はアマチュア



5 昨年4位の谷口拓也は3位タイに
6 350ヤードの飛距離でギャラリを魅了したW・J・リー
7 パットに苦しんだ片山晋呉は5位タイ
8 最終ラウンド、パープレーで単独2位の矢野東
9 2年連続でローアマチュアを獲得したW・J・リー
10 秋晴れの天候に恵まれた4日間、霞ヶ関CCには延べ2万人のギャラリが詰めかけた



「パットのラインが読めず、タッチも悪かった。」(片山) 「ビッグな大会でローアマを獲得して嬉しい。皆さんに感謝です。」(リー)

合計7ラウンドの練習ラウンドをこなし、連覇に向けて万全の体制で大会に臨んだ片山だったが、結局最終R75とスコアを崩し、通算2アンダーパーの5位タイで4日間を終

了。ホールアウト後、「パットのラインが読めず、タッチも悪かった」という短い言葉を残して、足早にコースを後にした。また、ローアマチュア争いも国際色豊かな戦いが繰り広げられ、前年度ローアマのW・J・リー(豪州)が、日本アマ2連覇の金庚泰(韓国)を2打差で振り切り、見事2年連続で栄冠を掴んだ。



350ヤードの飛距離で並み居るプロを圧倒したリーは、第3日目終了時には首位と3打差の4位につける大健闘を見せ、赤星六郎以来となるアマチュア優勝の期待も高まった。最終Rは77と崩れ、結局通算2オーバーパーの24位タイで終了したが、「このビッグな大会でローアマチュアを獲得して嬉しい。それも、ナショナルオープンの難しいコースセッティングで2回も。皆さんに感謝です」と、堂々たるコメントもプロ顔負けだった。





雨中の激戦 はチャンチョン(張晶)が制し、初出場初優勝！

1

1 最終パットをバーディーで締めくりキャディーに駆け寄るチャンチョン

2 初出場での優勝は第1回大会を除けば大会史上初の快挙だ



2

雨が降り難いコンディションなかで自分のプレーができた。伝統の日本女子オープンに勝てて嬉しい。(チャンチョン)

茨木カンツリー倶楽部西コースで開催された第39回大会は、特別承認で出場権を得た韓国のチャンチョン(張晶)が初出場初優勝を飾った。

米国女子ツアーを主戦場とする彼女は、昨年の全英女子オープンに制し、今年もツアー1勝を挙げている実力者。世界ランクでもベスト10以内に名前を連ねるプレーヤーである。火曜の午後に米国から来阪し、練習ラウンドを1回こなしただけで本選に突入したチョンだが、厳しいUSツアーで揉まれる強者は環境順応も早い。日本のナショナル・オープンのタフなコースセッティングにもキッチリと対応し、「グリーンが小さくアンジュレーションがきついけど、私は小さいグリーンが好き

ですから」と、流暢な英語でサラリと言っていた。

第1日に69の好スコアで単独首位に立つと、その後もメジャーチャンピオンの名に恥じない堂々たるプレー展開、3日間しっかりと首位を堅持。雨中の決戦となった第4日目も、3打差で追いつがる宮里藍を力でねじ伏せ、見事に4日間完全優勝を達成した。

身長157センチの小柄な体格から繰り出すスケールの大きいゴルフで、『リトル・ジャイアント(小さな巨人)』と世界から称賛を受けるチャン。「私自身もまだ26歳。上手になりたいから練習に精を出し努力している。ゴルフは仕事であり、人生の一つなのです」キッパリと言い切る表情はさすがが良かった。

大会史上最長6,546ヤードでの戦い

●9月28日～10月1日 ●茨木カンツリー倶楽部 西コース(6,546ヤード・パー72) ●出場人数120名

順位	氏名	所属	1R-2R-3R-4R=TOTAL	賞金額(万円)	氏名	所属	1R-2R=TOTAL
1	チャン チョン	韓国	69-69-72-69=279	28,000,000	阿蘇 紀子	袖ヶ浦CC新袖	76-78=154
2	辛 炫 周	Hi-Mart	73-70-70-71=284	15,400,000	飯島 茜	TOTO	75-79=154
3	宮里 藍	ザントリー	71-75-67-72=285	10,780,000	岡田伊津美	ロッテ菅吉台CC	72-82=154
4T	大山 志保	オンワード樺山	70-74-74-70=288	6,440,000	佐々木慶子	国際保険	78-76=154
	ウェイ ユンジェ	GOLF5	73-68-74-73=288	6,440,000	下村真由美	太平洋クラブ	78-76=154
6	◎若林舞衣子	開志学園高	75-74-70-71=290	0	新坂上ゆう子	鹿見島高牧CC	82-72=154
7	N・キャンベル	GOLF5	74-70-72-75=291	4,900,000	樋口 恵美	太平洋クラブ	78-76=154
8T	川原 由維	突戸ヒルズCC	74-78-67-73=292	3,920,000	藤田 幸希	TOSHIN	78-76=154
	諸見しのぶ	キャンノン	72-70-73-77=292	3,920,000	Maria Hjorth	スウェーデン	79-75=154
10	全 美 貞	フリー	70-73-73-77=293	3,080,000	◎佐伯 三貴	広島CC	80-75=155
11T	中田 美枝	フリー	73-76-72-73=294	2,555,000	坂口 由佳	フリー	78-77=155
	具 倫 希	明伸商事	74-73-72-75=294	2,555,000	◎原 江里菜	東北福祉大	75-80=155
13T	李 知 姫	フリー	77-73-72-73=295	1,886,500	天沼知恵子	太平洋クラブ	76-80=156
	山口 裕子	千葉CC	75-72-74-74=295	1,886,500	鎮西麻悠見	センチュリーシガGC	79-77=156
	井上 葉香	アップフロントエージェンシー	75-73-73-74=295	1,886,500	◎辻崎穂里	名古屋商大	72-84=156
	表 純子	フリー	73-75-71-76=295	1,886,500	◎大城さつき	パームヒルズGR	81-76=157
	◎森田理香子	朽木GC	74-72-71-78=295	0	◎大津くるみ	熊本GC	76-81=157
18	高橋美保子	フリー	71-73-77-75=296	1,540,000	藤井かすみ	ザクイーンズヒルGC	78-79=157
19T	T-ダーディン	フリー	74-73-80-70=297	1,365,000	我妻弘津江	グランプリ	73-85=158
	李 定 垠	フリー	73-77-72-75=297	1,365,000	元 載 淑	フリー	77-81=158
	不動 裕理	フリー	77-75-70-75=297	1,365,000	◎高林 由実	シャトレーゼCC石狩	83-75=158
	上原 彩子	ヴァーナル	75-73-72-77=297	1,365,000	西山ゆかり	朝霧CC	82-76=158
23T	福嶋 晃子	NEC	76-76-71-75=298	1,180,666	坂東 貴代	フリー	83-75=158
	上田 桃子	加賀電子	77-74-71-76=298	1,180,666	福田 裕子	GST NETWORK SYSTEM	81-77=158
	米山みどり	デンソー	73-74-74-77=298	1,180,666	茂木 宏美	赤城CC	80-78=158
26T	大久保亞紀	レダ	75-74-76-74=299	1,064,000	上野 敦子	フリー	77-82=159
	ジュリー 呂	フリー	72-77-73-77=299	1,064,000	◎菊地絵理香	東北高	83-76=159
	木村 敏美	ミスノ	75-75-72-77=299	1,064,000	熊谷 真弓	鶴舞CC	81-78=159
	斉藤 裕子	帆風	75-71-75-78=299	1,064,000	李 恩 恵	フリー	80-79=159
31T	馬場ゆかり	フリー	72-74-75-78=299	1,064,000	堀越ゆかり	テレテック	79-81=160
	山口 千春	フリー	76-73-77-74=300	932,400	具 玉 姫	L&G	84-77=161
	古閑 美保	キリンビバレッジ	77-75-73-75=300	932,400	塩田亜飛美	那須小川GC	82-79=161
	北田 瑠衣	フリー	77-69-78-76=300	932,400	◎竹村 真琴	花屋敷GC	80-81=161
	Veronica Zorzi	イタリア	74-73-75-78=300	932,400	土屋 陽子	筑波CC	81-81=162
	横峯さくら	サニーヘルス	70-74-75-81=300	932,400	赤堀 奈々	スタジオアリス	77-86=163
36T	裴 幸 希	信州駒ヶ根CC	74-73-79-75=301	854,000	片野 志保	セガサミーホールディングス	82-81=163
	西塚美希世	名神東CC	74-76-76-75=301	854,000	小林 瑞穂	ティエムテック	81-82=163
	曾 秀 風	フリー	73-78-74-76=301	854,000	森本多津子	権本チエイン	81-82=163
	東妻 茜	サンロイヤルGC	72-79-71-79=301	854,000	◎室井勝利子	筑紫ヶ丘GC	80-84=164
	中道かおり	アコーディア・ゴルフ	73-77-69-82=301	854,000	島袋 美幸	綾羽	86-79=165
41T	肥後かおり	フリー	76-77-76-73=302	805,000	藤原 利絵	メディアプロダクション	87-78=165
	大場美智恵	フリー	73-75-77-77=302	805,000	◎綾田 紘子	大宮国際CC	84-82=166
	◎中村 香織	滋賀県連盟	77-76-73-76=302	0	山崎千佳代	フリー	83-85=168
	◎藤本 麻子	岡山県作陽高	73-77-73-79=302	0	近本 英恵	トーカイ	86-83=169
45T	嶺所 由夏	シー・アイ・シー	79-74-76-74=303	749,000	中村 真代	パニッシュオーナーズGC	85-84=169
	青山 加織	フリー	74-76-80-73=303	749,000	並河 恭子	フリー	85-84=169
	◎河北さやか	ニューキャピタルGC	75-78-73-77=303	0	◎小橋絵利子	岡山GC	88-82=170
	◎金田久美子	クラーク記念国際高	73-75-77-78=303	0	◎吉村 美重	三井グリーンランドGC	86-84=170
	小川 あい	ジャパンヘルスマット	74-75-76-78=303	749,000	織掛 あい	あびす	84-88=172
	白戸 由香	フリー	75-75-75-78=303	749,000	◎篠塚 美幸	富里GC	84-89=173
	大久保夢未	城島後楽園CC	76-73-75-79=303	749,000			
	大塚有理子	かんらん舎	72-78-73-80=303	749,000			
53T	丁 允 珠	フリー	74-78-76-76=304	686,000			
	村井真由美	綾羽	75-78-74-77=304	686,000			
	鬼沢 信子	フリー	74-77-75-78=304	686,000			
56T	中野 晶	フリー	77-76-76-76=305	637,000			
	服部 道子	三共生興	75-73-77-80=305	637,000			
	片山 真里	神奈川クリニック	74-75-76-80=305	637,000			
	川崎充津子	メディキット	80-70-74-81=305	637,000			
60	◎藤 桜子	扶桑CC	76-77-75-78=306	0			
61T	◎服部 真夕	鳴海CC	75-77-75-80=307	0			
	◎宮里 美香	興南高	72-77-76-82=307	0			
63	城戸 富貴	ダイワボウ	76-77-78-77=308	602,000			
64T	藤野オリエ	葛城GC	77-76-80-77=310	567,000			
	高 又 順	フリー	79-74-76-81=310	567,000			
	野呂奈津子	さなげCC	79-74-76-81=310	567,000			
	矢崎 和	新日本観光	70-81-76-83=310	567,000			

以上第3ラウンド進出者

◎はアマチュア



3



4



5



6



7

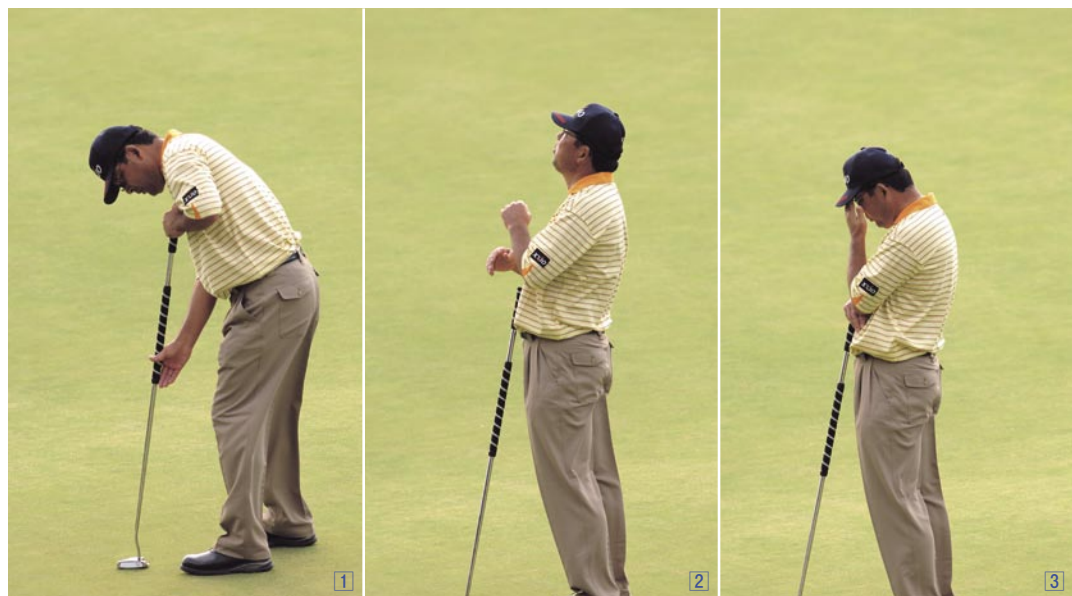
「チャンは日本でプレーしていない不利を克服した。ハングリー精神というかパワフルというか、その差を感じました。」(宮里)

今年から米国女子ツアーに参戦し、全米女子プロゴルフ選手権3位タイの成績をはじめ、世界を舞台に素晴らしい活躍を見せた宮里藍。9月に帰国後、「日本女子プロゴルフ選手権」、「ミヤギTV杯ダンロップ女子オープン」と2連勝を飾り、前年覇者として臨んだ日本女子オープンでは、宮里の大会連覇に周囲の期待が集まった。第1日目71、第2日目75と大会序盤はスコアメイクに苦しんだ宮里だが、第3日目にはベストスコア67の猛チャージ。一時は8ストロークあった首位との差を3ストロークに縮め、一躍優勝争いに名乗りを上げる。しかし、首位チャンとの直接対決となった第4日目は、1番ボギーの宮里に対して、チャンは

最初の3ホールで2バーディーという強烈な先制パンチ。これで出鼻をくじかれた宮里は以降ゲームの流れを呼び戻すことが出来ず、結局6打差の3位でホールアウトした。大会2連覇の夢を叶えることはできなかった宮里だが、自らの敗因を「パッティングの差」と冷静に分析。「こういう経験を積んでいけば、その差は必然的に埋められると思う」と、前向きな気持ちを決して忘れなかった。一方、今年の日本女子ツアーで賞金女王に輝いた大山志保は通算イーブンパーの4位タイ。またアマチュアの若林舞衣子は通算2オーバーパーの単独6位に入る大健闘。宮里に続くニューヒロイン誕生を期待させる大会となった。



8



粘る室田淳を1打差で振り切り、 中嶋常幸が大会2連覇を達成!

井上誠一設計の桑名カントリー倶楽部を舞台に、本年度シニアゴルファー日本一が決定!



「緊迫した中では思うようにならない。結果はコントロールできないから、集中力を絶やさないことを心がけた」(中嶋)

52歳の中嶋常幸と51歳の室田淳。白熱の優勝争いを制したのは、前年覇者の中嶋だった。共に10アンダーパーの首位タイで最終Rをスタートした2人の戦いは、中嶋が前半で4バーディー・ノーボギーの快進撃を見せ、室田を3打リードして後半に突入。しかし11番パー4で展開が一転する。3メートルのバーディーパットをしっかりと沈めた室田に対して、中嶋はこのホールで3パットのボギー。その差は一気に1打となった。その後、膠着状態が続いたあと、16番のバーディーでリードを2打に広げた中嶋だったが、続く17番をボギーとしてしまう。ひたすらパーを重ねる室田が、再び1打差に迫った。

そして最終18番で、1.5メートルのパーパットを迎えた中嶋。「最後は、こうなるといながら気持ちを落ち着けた」と、外せばプレーオフという緊張のパットを冷静に沈め、見事に大会2連覇を達成した。「緊迫した中では思うようにならない。結果はコントロールできないから、自分だけはコントロールしようと、集中力を絶やさないことを心がけた」と語る中嶋は、今年は日本プロシニアにも優勝し、日本アマを含めて前人未踏の日本タイトル7冠を達成。レギュラーツアーでも大活躍するなど、50歳を過ぎてもその進化は留まるところを知らない。

- ①②③ 1.5メートルのウィニングパット。入れば優勝、外せばプレーオフ緊張のパットはスライスラインを転がりカップを割った。その瞬間中嶋は硬直してしまった
- ④ 大会2連覇を達成した中嶋常幸
- ⑤ 最終ラウンド息詰まるゲーム展開を見せた室田淳と中嶋常幸



来年、中嶋は3連覇を目指す

●10月26日～10月29日 ●桑名カントリー倶楽部(6,952ヤード・パー72) ●出場人数108名

順位	氏名	所属	1R-2R-3R-4R=TOTAL	賞金額(万円)	氏名	所属	1R-2R=TOTAL
1	中嶋 常幸	フリー	68-66-72-69=275	16,000,000	池田 健司	フリー	72-78=150
2	室田 淳	サメジマコーポレーション	67-68-71-70=276	8,800,000	大塚 敏彦	フリー	73-77=150
3	尾崎 直道	フリー	67-71-70-73=281	6,160,000	◎阪田 哲男	袖ヶ浦CC	75-75=150
4T	牧野 裕	デサント	71-73-70-68=282	3,386,666	中村 彰男	フリー	77-73=150
	海老原清治	我孫子GC	68-65-76-73=282	3,386,666	松本 紀彦	鳥ヶ原CC	76-74=150
	三好 隆	タニヤゴルフ	76-67-68-71=282	3,386,666	重信 秀人	フリー	77-74=151
7T	友利 勝良	サニクリーン	70-69-73-71=283	2,240,000	信田 和成	川口グリーンゴルフ	76-75=151
	高橋 勝成	ライカ	66-74-69-74=283	2,240,000	林 康康	ウイルビー	78-73=151
9T	飯合 肇	フリー	66-74-73-71=284	1,640,000	平林 孝一	よみうりゴルフクラブ	77-74=151
	吉村 金八	中条GC	69-75-69-71=284	1,640,000	吉川 一雄	Y GOLF STUDIO	77-74=151
11T	青木 功	フリー	67-73-72-73=285	1,332,000	ドラゴン瀧	三重中央CC	74-78=152
	柴田 猛	フリー	69-69-73-74=285	1,332,000	◎吉村 和正	プレジデントCC山陽	75-77=152
13T	尾崎 健夫	フリー	70-71-73-72=286	1,052,000	金山 和雄	ダイワ精工	76-77=153
	福沢 孝秋	諏訪湖CC	74-69-70-73=286	1,052,000	佐藤 正一	セイコーエスヤード	78-75=153
15T	蔵岡 伸二	フリー	71-72-78-66=287	912,000	竹中 博	プロスパー	78-75=153
	D・イシイ	パールCC	73-72-72-70=287	912,000	井内 徹	福栄不動産	80-74=154
17	須藤 聡明	高森ゴルフガーデン	74-68-73-73=288	840,000	佐藤 優	フリー	77-77=154
18T	山本 善隆	城陽CC	73-74-72-70=289	744,000	寺田 寿	青山台GC	73-81=154
	B-ロングミュア	イングラッド	72-70-75-72=289	744,000	◎引地 理策	日清都CC	78-76=154
	中嶋 常実	エムピージー	71-72-73-73=289	744,000	藤田 裕	ドゥゴルフプラザ	74-80=154
	中山 徹	ヌーヴェルGC	72-72-70-75=289	744,000	山高 孝信	フリー	76-78=154
22T	藤池 昇龍	フリー	78-70-71-71=290	656,000	井上 智夫	テクナソニックジャパン	75-80=155
	文山 義夫	柏井ゴルフセンター	73-73-72-72=290	656,000	◎上重 修	総武CC	77-78=155
	中尾 豊健	アコーディア・ゴルフ	74-72-72-72=290	656,000	中川 泰一	フリー	74-81=155
25T	中瀬 寿	フリー	73-72-76-71=292	584,000	◎堀田 明	三木GC	75-80=155
	奥野 光司	オレンジゴルフセンター	73-73-75-71=292	584,000	杉山 誠	高根沢ゴルフパーク	77-79=156
	野口裕樹夫	フリー	72-73-75-72=292	584,000	◎辻田 昭吾	くまもと中央CC	79-77=156
	曾根 保夫	枚方ゴルフセンター	72-73-74-73=292	584,000	山崎 隆夫	ゴルフショップ シスコ	78-78=156
	江本 光	フリー	75-74-70-73=292	584,000	稲田 嘉明	亀岡CC	78-79=157
	市川 幹雄	大泉バディゴルフクラブ	70-74-73-75=292	584,000	◎武山 良一	桑名CC	80-77=157
31T	◎崎山 俊紀	今治CC	77-70-73-73=293	0	渡辺 由己	我孫子GC	75-82=157
	T・ゲール	オーストラリア	72-72-75-74=293	528,000	金子登喜雄	フリー	80-78=158
33T	横島 由一	太平洋クラブ	73-75-72-74=294	512,000	◎内藤 正幸	桜ヶ丘CC	80-78=158
	秋富由利夫	フリー	72-73-73-76=294	512,000	藤間 達雄	沼津GC	80-78=158
	草野 忠重	城島後楽園CC	70-72-73-79=294	512,000	皆川 昇	フリー	79-79=158
36	井上 久雄	フリー	73-72-74-76=295	496,000	村上 栄二	フリー	76-82=158
37T	福垣 太成	エルアンドジー	71-77-75-73=296	484,000	◎岡本 安明	鳴尾GC	83-76=159
	出口栄太郎	グレイスヒルズCC	75-69-77-75=296	484,000	◎石井 重次	メイプルポイントGC	78-82=160
39T	陳 志明	筑波産商	75-72-76-74=297	460,000	◎大川 重信	大博多CC	81-79=160
	鈴木 弘一	フリー	73-76-74-74=297	460,000	岡部 全佑	フリー	77-83=160
	佐野 修一	フリー	72-76-74-75=297	460,000	◎森永 正隆	武蔵CC	81-79=160
	菊一 利彦	スリーレイクスCC	74-68-79-76=297	460,000	錦織 信男	フリー	78-83=161
43T	青木 基正	フリー	74-73-76-75=298	436,000	泉 利和	周南CC	84-80=164
	佐藤 剛平	芳秀CC	69-74-79-76=298	436,000	◎相馬 聡夫	茨城GC	79-85=164
45T	長谷川勝治	船橋CC	74-74-78-73=299	412,000	◎楠元 利夫	都城母智丘CC	78-91=169
	伊藤 正己	明智GC	73-73-76-77=299	412,000			
	上野 忠美	ミズノ	74-74-74-77=299	412,000			
	山下 英章	能登GC	73-74-74-78=299	412,000			
49	初見 充吉	立科GC	75-73-73-79=300	392,000			
50T	◎諏澤 一	笠岡CC	74-75-79-73=301	0			
	本多 良地	フリー	77-71-79-74=301	376,000			
	田中 文雄	網島ゴルフ	73-75-77-76=301	376,000			
	南條 勝美	千葉廣済堂CC	76-72-74-79=301	376,000			
54T	◎神戸 誠	太田双葉CC	71-75-81-75=302	0			
	萩原 安造	フリー	72-71-81-78=302	356,000			
	山下 邦夫	フリー	69-77-78-78=302	356,000			
57T	谷後 則和	フリー	76-73-76-79=304	340,000			
	霍本 謙一	メガネスーパー	76-73-76-79=304	340,000			
59T	安田 春雄	大徳興業	77-72-78-78=305	324,000			
	新聞 善美	ビックライザックCC	75-74-76-80=305	324,000			
61	青木 民也	草津CC	74-75-88-75=312	312,000			

以上第3ラウンド進出者

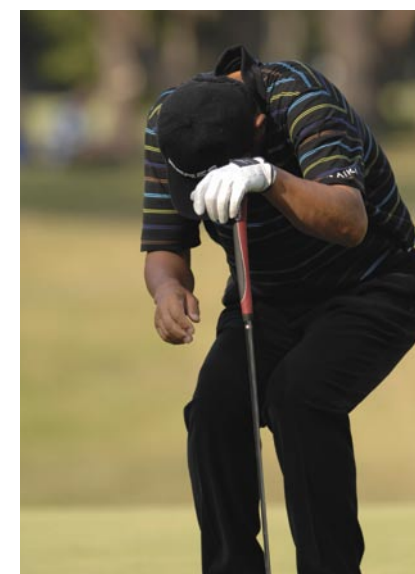
◎はアマチュア



「幸運なパットが無かった」(室田) 「来年も出場できますから、ローアマ3連覇を狙います」(崎山)

試合後、中嶋が「最後まで決して勝負を諦めない選手」と称賛した室田。持ち前の粘りのゴルフを武器に、息詰まる1打差の攻防を繰り広げた室田だったが、「あとひとつ、カップにコロンと入ってくれた幸運なパットが無かった」と、自らの敗因を淡々と振り返った。しかし、中嶋と同様に、シニアツアーとレギュラーツアーで両輪の活躍を見せる室田だけに、今後も2人の熱い勝負が繰り広げられることだろう。またローアマチュアに輝いた崎山俊紀(今治CC)も、2年

連続のビッグタイトル獲得となった。7打のリードで迎えた最終Rも、「私達アマチュアのゴルフは何が起きるか分からないので、気を引き締めてプレーしました」と、冷静沈着なプレーを展開。この日73をマークし、通算5オーバーパーの31位タイでフィニッシュ。諏澤一(笠岡CC)に8打差をつけて栄冠を勝ち取った。51歳の崎山は、「これで来年の大会も出場できますから、ローアマチュア3連覇を狙います」と、更なる目標を自らに掲げた。



- ⑥ 1打差の2位でも、今季のシニアツアー賞金王が確定した室田淳
- ⑦ 豪快なティーショットを放つ中嶋常幸
- ⑧ 大会5勝目を目指した青木功は11位タイ
- ⑨ 2年連続、ローアマチュア獲得の崎山俊紀選手。
- ⑩ 第1日目首位スタートした高橋勝成だったが7位タイに終わった
- ⑪ シニアルーキーの牧野裕4位タイと健闘
- ⑫ 米シニアツアーから2週前に帰国した尾崎直道は3位タイ
- ⑬ 2002年欧州シニアツアーで3勝を挙げ賞金王に輝いた海老原清治は4位タイ





初の韓国対決となった第91回大会は 昨年覇者金庚泰が2連覇を達成!

- ① 日本アマ史上初の韓国勢の決勝となった康晟訓と金庚泰
- ② 大会連覇の金庚泰
- ③ パーディーパイクを決め思わずガッツポーズをする金庚泰
- ④ 慎重にパッティングラインをよむ伊藤勇氣
- ⑤ 準々決勝で顔を合わせた伊藤勇氣と宇佐美祐樹
- ⑥ 準々決勝での茅野弘喜と康晟訓

「長い歴史ある日本アマのタイトルを連続して優勝出来て、感無量です。もっと立派な選手になれるように頑張ります」(金)

クオリファイラウンドで注目を集めたのは、6月の全英アマチュア選手権でベスト16の好成績を収めた伊藤勇氣。1日目4アンダーパー単独2位の好発進を切ると、2日目もスコアを3つ伸ばして2位の芳賀洋平に1打

差をつけ、自身初のメダリストとなった。上位32人によるマッチプレーの注目カードは、井関剛義と田村尚之のミドルエイジ対決。両者オールスクエアで最終ホールまでつれ込む熱戦を展開。最終18番で田村がパーディーを奪い大接戦を制した。4日目は、優勝候補と目されていた伊藤勇氣を



準々決勝で下した宇佐美祐樹が、続く準決勝でディフェンディングチャンピオンの金庚泰と対戦。エキストラホールに及ぶ白熱の戦いは、通算20ホール目で金が勝負をものにした。準決勝もう1つのマッチでは、ベテランの田村と韓国の康晟訓が顔を合わせ、2-1で康が勝利。康は本大会初出場で見事決勝にコマを進めた。史上初の韓国人同士の対決となった決勝戦は、金が相手に一度もリードを許すことのない完璧なゴルフを展開し、5-4で康に圧勝。史上13人目となる大会2連覇を達成した。

●7月4日(火)~8日(土) ●東広野ゴルフ倶楽部(7,126ヤード・パー72) ●出場人数140名

